

■著者紹介

川嶋 四郎 (かわしま しろう : KAWASHIMA Shiro)

現在 同志社大学法学部・大学院法学研究科・教授
日本学術会議会員

略歴 滋賀県甲賀市生まれ
一橋大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学，博士（法学）
九州大学大学院法学研究院・法科大学院・教授等を経て，現職

著書 『民事訴訟過程の創造的展開』（弘文堂，2005年）
『民事救済過程の展望的指針』（弘文堂，2006年）
『差止救済過程の近未来展望』（日本評論社，2006年）
『アメリカ・ロースクール教育論考』（弘文堂，2009年）
『民事訴訟法』（日本評論社，2013年）
『公共訴訟の救済法理』（有斐閣，2016年）
『民事訴訟の簡易救済法理』（弘文堂，2020年）
『民事訴訟法概説〔第3版〕』（弘文堂，2019年）
『民事手続法入門〔第5版〕』（共著。有斐閣，2018年）
『民事裁判 ICT 化論の歴史的展開』（共著。日本評論社，2021年）
『テキストブック現代司法〔第6版〕』（共著。日本評論社，2015年）
『会社事件手続法の現代的展開』（共著。日本評論社，2013年）
『レクチャー日本の司法』（共著。法律文化社，2014年）
『判例民事訴訟法入門』（共著。日本評論社，2021年），等